

## Topics | トピックス

- ◆ スマホによる「公的年金シミュレーター」の試験運用を開始
- ◆ 「学生との年金対話集会」について紹介と募集
- ◆ 2022年2月末現在の国民年金の月次保険料納付率は3年経過納付率で77.3%

### ◆ スマホによる「公的年金シミュレーター」の試験運用を開始

厚生労働省は開発を進めていたスマートフォンやタブレットで年金額を簡単に試算できるツール「公的年金シミュレーター」の試験運用を2022年4月25日から開始した。このツールでは、日本年金機構から公的年金の被保険者に送られる「ねんきん定期便」に記載の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取り、生年月日を入力することで、働き方・暮らし方の変化に応じて将来受給できる年金額の試算を、いつでも手軽に行うことができる。

厚生労働省ではホームページ上で動画<基本操作編><ライフプラン編（直接入力）><ライフプラン編（二次元コード使用）><Q&A集編>も紹介している。➔ [https://www.mhlw.go.jp/stf/kouteki\\_nenkin\\_simulator.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/kouteki_nenkin_simulator.html)

また、厚生労働省では公的年金シミュレーターの利用者満足度の向上を目的として試験運用期間を設け、意見を募集している。➔ 厚生労働省「国民の皆様の声」募集 送信フォーム <https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/getmail>

※公的年金シミュレーターは簡易に試算することを目的としており、実際の年金額とは必ずしも一致しない。より正確な年金見込み額の確認をする場合には日本年金機構の「ねんきんネット」を利用する。

#### 【公的年金シミュレーターの特徴】

- 「ねんきん定期便」の二次元コードを、スマートフォンやタブレットで読み込むだけで利用できる。
- 入力や条件設定などの操作が簡単でスムーズ。
- グラフで受給額を表示しながら試算できる。
- ID・パスワードが不要。
- 個人情報は記録されず、画面を閉じるとデータは自動消去されるので、データ管理も安心・安全。

【年金試算の手順】（厚生労働省ホームページ [https://www.mhlw.go.jp/stf/nenkin\\_simulator\\_press.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/nenkin_simulator_press.html) より）

#### STEP-1 アクセス方法

「ねんきん定期便」の二次元コードをスマートフォンから読み込む



※「ねんきん定期便」がなくても、働き方・暮らし方を入力して試算できます。

#### STEP-2 生年月日を入力し、「試算する」をタップ



#### STEP-3 年金見込み額の表示

将来受給可能な年金見込み額がグラフで表示されます。

※スライダーを操作して、年金の受取り開始時期等を簡単に変更できます。

※最後に入力された年金の加入状況により、操作できるスライダーが異なります。



## ◆「学生との年金対話集会」について紹介と募集

厚生労働省は2022年4月15日、「学生との年金対話集会」について2021年度の実施状況を紹介するとともに、2022年度の開催校を募集した。この集会は厚生労働省年金局の主催により大学生が年金局職員と年金について語り合うもので、オンラインでも実施されている。

2021年度は、講義方式で愛知県立大学（7月7日実施）、座談会方式で帝京大学（7月2日実施）、講義方式で一橋大学（5月18日）、講義・オンライン方式で成城大学（2022年1月12日）など、全国24大学において実施された。

### 学生との年金対話集会（2022年度）の概要

#### <期間>

2022年4月～2023年3月

#### <目的>

- 年金制度の理解の促進
- 自身の年金について年金局職員と一緒に考えること

#### <開催の方法・形式>

厚生労働省年金局職員がキャンパスに出向く。Zoomやwebexなどを用いたオンラインでの開催も可能。通常の講義の時間1コマを開催にあてる。下記例のような2部構成で実施することも可能。

（2020年度の一例）

- ・ 第1部（30分）：年金局職員から年金制度に関する説明
- ・ 第2部（60分）：数人のグループに分かれて大学生と年金局職員が座談会方式で意見交換

#### <説明資料の例>

「私の年金とみんなの年金」(<https://www.mhlw.go.jp/content/12500000/000927835.pdf>)

### 学生との年金対話集会（2022年度）の応募方法

#### <応募方法>

専用メールアドレス（[nenkin-taiwa@mhlw.go.jp](mailto:nenkin-taiwa@mhlw.go.jp)）宛てに、①学校名、②開催希望日時（第1希望～第3希望）、③参加見込みの学生数、④連絡先（担当者名、住所、電話番号、メールアドレス）を明記して申し込む。

#### <応募条件>

- 日本国内にある大学（大学院、短期大学などを含む）であること
- 当日は10～50名程度の大学生の参加が見込まれること
- 会場や機材（プロジェクターやスクリーンなど）の準備ができること

#### <注意事項>

- 多数の応募があった場合は希望通りの日時とならない、または開催できない場合もある。
- 災害の発生や感染症の拡大により中止・延期の可能性はある。

## ◆ 2022年2月末現在の国民年金の月次保険料納付率は 3年経過納付率で77.3%

厚生労働省は2022年4月22日、2022年2月末現在の国民年金保険料の納付率を公表した。

### 【2019年2月分の納付率】（3年経過納付率）

対前年同期比0.5%増の77.3%であった。3年経過納付率は最終的な納付率の状況を示すものとなっている。納付対象月数は853月で、納付月数は659万月。

### 【2020年2月分の納付率】（2年経過納付率）

対前年同期比4.3%増の77.5%であった。納付対象月数は820万月で、納付月数は636万月。

### 【2021年2月分の納付率】（1年経過納付率）

1年経過納付率は76.4%であった。納付対象月数は800万月で、納付月数は611万月。

なお、都道府県別に見ると、1年経過納付率・2年経過納付率・3年経過納付率ともに最も高いのは島根県で、3年経過納付率は88.1%となっている。